

平成7年度未規制大気汚染物質（アスベスト）モニタリング結果の概要

（出典：平成7年度未規制大気汚染物質モニタリング調査結果 平成9年1月28日 環境庁）

地域分類	地点数	検体数	最小値	～ 最大値	幾何平均
発生源周辺 I	11	66	0.04	2.58	0.29
発生源周辺 II	14	84	0.09	13.47	0.88
発生源周辺 III	12	72	0.13	1.96	0.42
バックグラウンド I	6	36	0.04	0.99	0.19
バックグラウンド II	23	150	ND	1.76	0.25
計	66	408	ND	13.47	0.36

・地域分類

発生源周辺[1]：アスベスト製品製造事業所散在地域（アスベスト製品を製造する複数の事業所が散在している地域）、廃棄物処分場等周辺

発生源周辺[2]：アスベスト製品製造事業所周辺地域（アスベスト製品を製造する事業所が単一に存在し、その周辺を対象とする地域）、蛇紋岩地域（アスベストの一種であるクリソタイルは、蛇紋岩を構成する主要鉱物の一つであるといわれ、採石によりその飛散が考えられる。）

発生源周辺[3]：高速道路沿線、幹線道路沿線（一部のブレーキにアスベストが使用されており、その摩擦等により飛散が考えられる。）

バックグラウンド[1]：内陸山間地域、離島地域

バックグラウンド[2]：住宅地域、商工業地域、農業地域

・幾何平均

大気中で測定される濃度の分布が、対数正規分布に従うと仮定した場合の中央値をいう。

・ND（不検出）の取扱い

幾何平均においては、顕微鏡により50視野覗いたときに計数繊維数が1本存在したと仮定して算出。

表 2 - 1 測定結果 (アスベスト)

地域分類	地点		測定結果		(f/1)	
	番号	検体数	最小	最大	算術	幾何
アスベスト製品製造事業 散在地域	1	6	0.09	0.41	0.27	0.25
	2	6	0.09	0.42	0.23	0.21
	3	6	0.04	0.13	0.09	0.08
	4	6	0.04	0.18	0.09	0.07
廃棄物処分場周辺地域	5	6	0.69	2.58	1.39	1.25
	6	6	0.44	1.69	1.02	0.94
	7	6	0.26	1.31	0.68	0.59
	8	6	0.26	0.49	0.35	0.34
	9	6	0.25	0.52	0.34	0.33
	10	6	0.094	0.37	0.23	0.21
アスベスト製品製造事業 周辺地域	11	6	0.19	0.42	0.27	0.26
	12	6	0.76	10.45	3.29	2.06
	13	6	0.72	6.48	2.08	1.49
	14	6	0.61	3.48	1.57	1.27
	15	6	0.92	6.06	3.60	3.03
	16	6	1.04	13.47	5.03	2.65
	17	6	0.17	2.20	1.19	0.90
	18	6	0.46	2.99	1.52	1.20
	19	6	0.17	0.80	0.49	0.41
	20	6	0.09	1.31	0.47	0.33
	21	6	0.09	0.95	0.40	0.27
蛇紋岩地域	22	6	ND	3.10	1.25	0.86
	23	6	ND	0.99	0.61	0.51
	24	6	0.19	1.10	0.64	0.53
	25	6	0.25	1.39	0.67	0.55
高速道路周辺地域	26	6	0.20	0.45	0.34	0.32
	27	6	0.25	0.91	0.61	0.55
幹線道路周辺地域	28	6	ND	1.08	0.72	0.61
	29	6	ND	0.75	0.33	0.27
	30	6	0.21	0.50	0.34	0.32
	31	6	0.17	0.42	0.27	0.25
	32	6	0.26	0.65	0.46	0.44
	33	6	0.28	0.77	0.53	0.50
	34	6	0.18	0.37	0.29	0.28
	35	6	0.13	0.27	0.19	0.18
	36	6	0.82	1.55	1.10	1.06
	37	6	0.65	1.96	1.03	0.96

注) 大気汚染防止法に基づく規制基準敷地境界基準(10f/1)の適用は、各地点ごとに3回捕集して得られた個々の測定値を幾何平均することにより、評価することとされている。

表 2 - 2 測定結果 (アスベスト)

地域分類	地点 番号	検体数	測定結果		(f/l)	
			最小	最大	算術	幾何
内陸山間地域	38	6	0.10	0.40	0.25	0.22
	39	6	0.15	0.51	0.33	0.29
	40	6	0.05	0.34	0.17	0.14
	41	6	0.04	0.99	0.26	0.14
離島地域	42	6	0.12	0.45	0.26	0.23
	43	6	0.07	0.53	0.25	0.18
住宅地域	44	6	0.35	1.76	0.84	0.74
	45	6	ND	0.47	0.20	0.18
	46	6	ND	ND	ND	ND
	47	6	ND	ND	ND	ND
	48	6	ND	ND	ND	ND
	49	6	0.08	0.21	0.16	0.15
	50	6	0.08	0.33	0.17	0.15
	51	6	0.12	0.21	0.18	0.17
	52	6	0.12	0.25	0.17	0.16
	53	6	0.13	0.28	0.20	0.19
	54	6	0.17	0.37	0.28	0.27
	55	6	0.25	0.57	0.44	0.43
	56	6	0.04	0.74	0.36	0.24
商工業地域	57	6	0.04	0.26	0.16	0.14
	58	6	0.12	0.33	0.23	0.21
	59	6	0.09	0.33	0.16	0.14
	60	6	0.09	0.14	0.12	0.11
	61	6	0.04	0.26	0.12	0.10
	62	6	0.04	0.22	0.15	0.13
	63	12	0.14	1.15	0.55	0.45
農業地域	64	12	0.20	1.28	0.67	0.61
	65	6	0.25	1.27	0.63	0.55
	66	6	0.25	0.94	0.46	0.41

注) 大気汚染防止法に基づく規制基準敷地境界基準(10f/l)の適用は、各地点ごとに3回捕集して得られた個々の測定値を幾何平均することにより、評価することとされている。